

# 園芸施設共済の加入者様の声をご紹介します！！

## PART8

### ～迅速な損害評価と共済金支払いに感謝～



ほうれんそう  
(ビニールハウス29棟)  
伊勢崎市  
生形 貴章さん

毎年のように起こる自然災害によって、どんな被害を受けるか心配だったため、令和7年6月から園芸施設共済に加入しました。

加入してから1週間経たないうちに、ひょう害によってパイプハウス29棟全ての被覆材が被害を受けてしまいました。しかし、NOSAIによる迅速な損害評価のおかげで、早期に共済金が支払われたことで、農業保険の重要性を実感しました。

今回のひょう害のように、いつ災害が起きても大丈夫なように、今後も安心して営農していくため、園芸施設共済に加入し続けたいと思います。

### ～迅速な対応と農作物への補償が魅力～

令和6年9月に発生した集中豪雨によりトマトが大きな被害を受けました。排水対策はしっかりと行っていましたが、想像以上の降水量により60cm程度浸水してしまい、定植直後のトマトが全て枯れてしまいました。しかし、園芸施設共済の施設内農作物の補償によって新しい苗を購入することができ、その後は順調に収穫まで行うことができました。

被害連絡後、すぐに調査に来てくれて親身に対応してくれたところが園芸施設共済の魅力です。

異常気象により、多くの自然災害が発生している昨今において、ハウス本体だけでなく施設内農作物も補償してくれる、園芸施設共済の必要性をより大きく感じています。



トマト15a  
藤岡市  
大沢 元洋さん